

2013(平成25)年

2月1日

第141号

毎月発行

毎月第4月曜日は休館日です

西東京市

公民館だより

編集

公民館だより編集室

発行

西東京市公民館

柳沢公民館 柳沢1-15-1 ☎042-464-8211 kouminkan@city.nishitokyo.lg.jp
田無公民館 南町5-6-11 ☎042-461-1170 tana-kou@city.nishitokyo.lg.jp
芝久保公民館 芝久保町5-4-48 ☎042-461-9825 shiba-kou@city.nishitokyo.lg.jp

谷戸公民館 谷戸町1-17-2 ☎042-421-3855 yato-kou@city.nishitokyo.lg.jp
ひばりが丘公民館 ひばりが丘2-3-4 ☎042-424-3011 hibari-kou@city.nishitokyo.lg.jp
保谷駅前公民館 東町3-14-30 ☎042-421-1125 ekimae-kou@city.nishitokyo.lg.jp

平成24年度

講座参加者の声

今年度も公民館主催講座から多くの出会いが生まれ、公民館が新たな発見や学びを深める場となりました。今回は数ある事業の中から、各館の6事業について、参加者に報告していただきました。

ひばりが丘公民館 親子防災講座に 参加して

小学五年 竹田 彩音

防災講座と聞いて「どんなことをするのか」と興味をもち、参加しました。その中でも、ペットボトルをカッターで切つて、ティッシュペーパーを10まい重ねて作った「ろ過装置」にきたない水を入れると、水がきれいになったことに感動しました。ティッシュペーパーを、ペットボトルの口に合うように、まい数や力加減を調節するのがむずかしかったです。とても良い体験ができたので、今回のことをわすれずにたいです。

竹田 公子

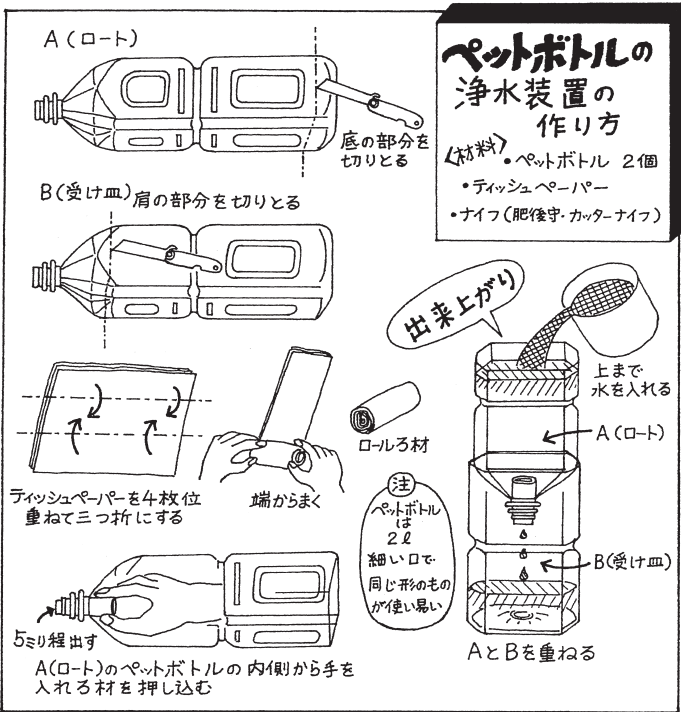
まず惹かれたのが講座名でした。子どもたちも大きくなり、別々に過ごす時間が増えていく中、親子で防災に対する知識を共有できたらと参加しました。2回にわたり行われた中で、森岡三保子さんの「ピンチのときこそおいしく食べよう」と題された防災料理講座では、ちよっとしたアイデアで災害時でも温かく栄養価のある食事がとれることを学びました。うまく使い回せる食材を常備しておくなど、身近なところから防災力をつけていけるよう、親子で考え、学ぶことができた講座でした。

戸公民館 エッセイ・ブログ 講座に参加して

有澤 多津子

公民館だよりに「めざせ！エッセイ・ブログの達人」と題して文章講座を開く旨載っていました。ブログは多くの人とつながるすばらしい武器らしい、私もブログデビューをするぞ、と張り切って参加しました。

講師はエッセイストの山口文憲先生。出された課題について600字以内で書き、ご指導を受けます。文章に構成力がないと指摘されたときには、私の人生と同じだあ、と笑っていました。文にはその人間が出る



イラスト出典「たなし公民館だより」平成8年1月1日号

みなさんも試してみてください

柳沢公民館

高齢社会における法律講座に参加して

深澤 麻紀

「長女は4年制大学に、次女は医学部に行った場合、親の死後、相続に関して長女は次女との学費の差額を主張できるのか？皆さんはどのように考えますか？」

答えは、医学部のように特別に高額な学費を出す必要がある場合というのは特別受益とみなされ、相続の際、考慮にあたりうる、とのこと。

講師である金田弁護士は、このように一見こっけいに見えても、実際には起こりうる様々な相続遺言に関する事例をクイズ形式を交えてわかりやすく説明してくださいました。

講座の参加者は、そろそろ自分も遺言について考えないと、という70歳代前後とおぼしき年代の方々が多く、皆様とても前向きで、かつ人生の機微を存じてあるがゆえに鋭い質問の連発で、講座はとても活気のあるものでした。

全く法知識のない方も、私のように生半可な知識を持った者でもとても役立つ講座だと思いました。遺言・相続・後見制度は誰もが避けて通れない問題です。ぜひこのような講座をこれからも開催してくださいませうお願いいたします。



わが街をもっと知りたくて

国際ソロプチミスト東京ー西

みんなの役に立ちたい 奉仕とボランティア

昨年10月7日(土)、保谷こもれびホールで「夜回り先生・水谷修氏の講演会」が行われ、小雨にも関わらず250人の来場者を迎えて笑いと涙で会場が包まれました。この講演会を開催したのは、西東京市で活動する「国際ソロプチミスト東京ー西」の女性たちです。

前会長の高梨さんは「奉仕資金にはチャリティー観劇会のチケットの販売や、チャリティーバザーの収益金などを充てています。限りある資金なので、やることには限界がありますが、地道に続けています」と話します。

彼女たちが所属する「国際ソロプチミスト」とは女性・女性の自立と生活の向上を支援する社会福祉を目的とした国際的なボランティア団体です。その語源はラテン語で「女性にとって最良」を意味します。本部をロンドンに置き、123か国の管理職や専門職に就いている女性で組織され、日本国内では513クラブ、約1万2000人を越す女性が参加しています。

国際ソロプチミスト東京ー西(現16人)は、1989年(平成元年)に認証され、数多くの奉仕活動に取り組んできました。一例を挙げれば、認証20周年記念事業として、富士山の清掃活動に尽力するアルピニストの野口健氏を迎え、地球環境問題を考える講演会を開催しました。海外援助では、フィリピンの少女の里親となるほか、ミャンマーの女性の教育と自立支援「インドネシア熱帯雨林再生プロジェクト」に参加しています。また身近な事業では、いこいの森公園、多摩六都科学館などでの植樹・市内の公園への時計塔設置などがあります。



3月に恒例のひな祭り茶会を開催し、同時にバザーも開きます。ぜひご参加ください。

自分一人ではできなくても、みんなの力が集まれば、大きな奉仕の力になります。興味のある方はご連絡ください。
☎042-465-7200